

ポケット、ツインパドル

GM701

GM701 は持ち運びする時、メカ部とツマミはスライドし、総てアルミケース内に
収容出来ます、

運用時はツマミをスライドさせ キー操作をします、

また、このパドルはダブルレバーですので、ツマミの同時押さえでスクイズ操作が出来ます（短点 長
点の連続符号になります）

特徴

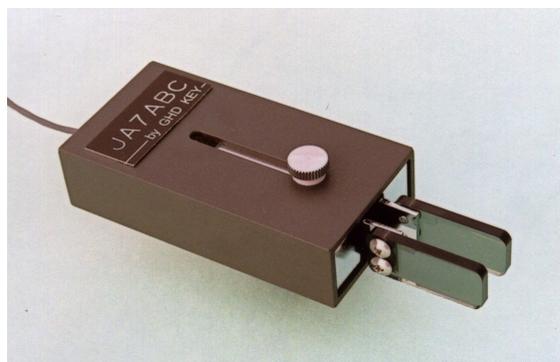
- ① コンパクトで携帯に便利です
寸法 40W×20H×78D 重量 約 150g
- ② 堅牢で、ツマミを収納すると、ポケットやバックに入れて持ち歩いても破損する事は
有りません
- ③ 使いやすいダブルレバー方式です

操作例

- ① GM701 を左手に持って右手で操作する
- ② トランシーバー本体に両面テープで固定する
- ③ GM701 の底面にマグネットのラバーシートを貼り付けて、鉄製の机やリグに固定する
（ 上記②及び③のテープやマグネットは DIY のお店 などでお求め下さい ）

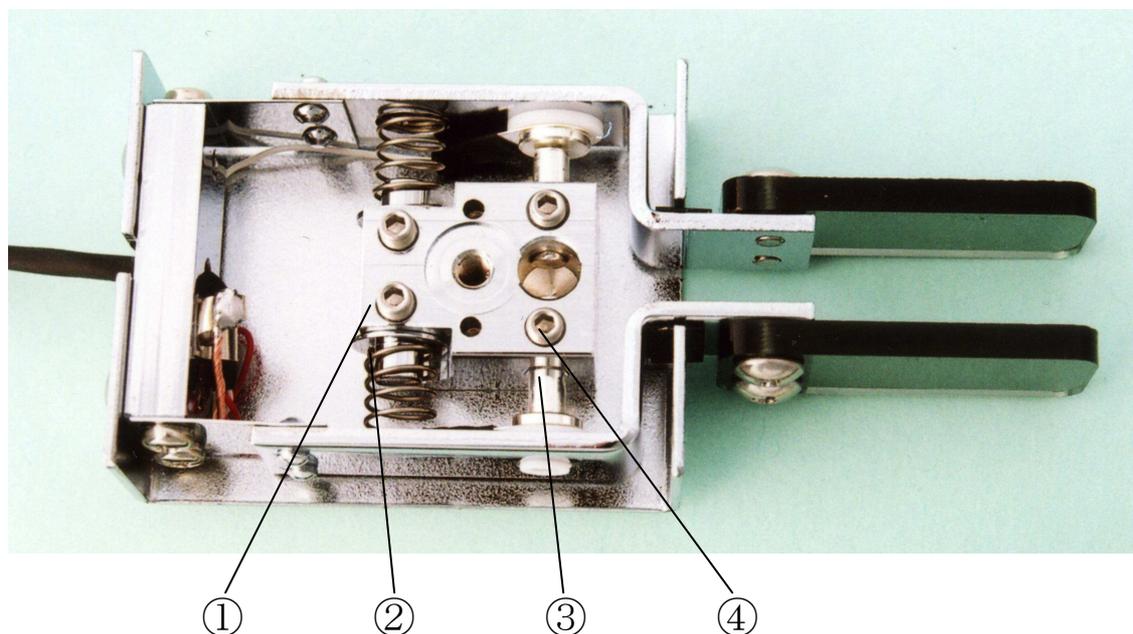
注意

上部のネジをゆるめたままにすると、左右に遊び(ガタ) を生じます、その時は 上部のネジ
を締め付けてご使用下さい。



GM701 のレバーストローク(接点間隔)とバネ圧調整法

出荷時に丁度良いところに合わせて有りますが、ご自身でお好みに合わせてご使用下さい、



- 1 ケースのスライド用止めネジを外し メカ部を取り出します、 ロックネジ①を緩め バネ用ツバ②を ピンセット等で出し入れしバネ圧を調整し ロックネジ①を 締めます
- 2 ロックネジ④を緩め 接点ロッド④をピンセット等で出し入れし 接点間隔を調整し(出荷時は 約 0.2 ミリ) ロックネジ④を締めます (名刺等の厚紙を挟むと合わせやすいです)
- 3 右側も同様に調整します

接続方法

- 2 芯シールドコードの先端にリグにあったプラグを取り付けて下さい (リグによりプラグの種類と配線が異なりますので、プラグはユーザー様でご用意をお願いします)
- エレクトロニックキー(通称エレキー) として使うには別にキーヤー(符号発生器) が 必要です、最近の多くのリグにはキーヤーが内蔵されています (ご不明の時はリグの 取説 をご確認ください)
- リグにキーヤーが内蔵されていない時は 弊社のメモリーキーヤー **GK509A** のご使用を お勧めします (符号の記録 再生が出来ますので大変に便利です)
- 通常の右手操作(親指が短点 人差し指が長点) の時は 2 芯シールド線の白が短点 赤が長点になります
- 写真のコールサインプレートは撮影用です (現品は GHDKEY のロゴシールです)